

「教科書を使って主体的に学ぶ」ために（小学校用）



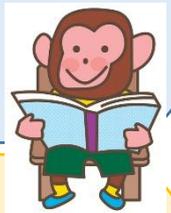
自分で学びたいことを見つけ、進んで学習していくためのヒントが、教科書にあります。教科書の使い方を工夫することで、保護者の皆さんとお子様と一緒に学習することができます。

<例>

- ◆教科書のQRコードを活用 自分で進んで学ぶヒントになります。
- ◆キャラクターのコメントに着目 考えていくときのヒントになります。

【国語】

- 教材文の下にある「語句」や疑問に思う言葉などについて、国語辞典を活用して意味調べをしてみましょう。
- 新出漢字を練習したり、漢字辞典で意味や活用について調べたりしてみましょう。
- 気に入った詩や大切だと思うところなどを探して視写したり、物語文や意見文などを読んだ感想を書いたりしてみましょう。
- 単元の最初のページにある学習のポイントを参考に教材を読んでいくと、その単元の学習で身につけたい内容を意識して読み進められます。
- 単元末の「たいせつ」「いかそう」等のコーナーをよく読んで本文を読んだり、ノートに自分の考えをまとめたりすることで、学習を深めることができます。



【社会】

- 単元のはじめにある「まなび方コーナー」や「めあて」、「学習課題」などを参考にすると、学習の方向性がつかれます。
- 「まなび方コーナー」や「学習課題」にある内容を解決するために、教材を読んだり資料を集めて考えたりすることで、単元で求められる力をつけることができます。
- 見開きの最初のページにある「つかむ」「調べる」などを参考にしましょう。「つかむ」「調べる」の内容をノートに書き、その後に教材を読んで大切だと思うところやまとめを書き込んでいくと、単元が終わるときには、学習内容を自分なりにまとめたノートが出来上がります。
- 興味のある内容を決めて、地図帳や資料集を調べたり、インターネットを活用したりして、調べ学習したことを、画用紙などにまとめてみましょう。新聞づくりや自由研究にもなります。

【算数】

- 教科書表紙のQRコードでは、全学年の教科書のQRコードの内容を見ることができます。
- 単元のはじめに付いているQRコードを活用すると、既習事項を確認することができます。既習事項の確認用の問題は、教科書の後半に集められています。復習にも使えます。
- QRコードが付いている場所では、図や表のかき方などを動画で見することもできます。
- 単元末の問題に付いているQRコードを活用すると、解き方のヒントが分かります。
- 5年の教材の中には、プログラミング教育に関わるシミュレーションを体験することができるQRコードもあります。



【理科】

- 教科書表紙のQRコードでは、全学年の教科書のQRコードの内容を見ることができます。
- 理科の学習は、教科書にあるように「見つめる」→「調べる」→「ふり返る」という流れで進んでいきます。その流れを意識してノートに整理していきましょう。自分なりの調べ学習になります。
- 単元のはじめにある「考えてみよう」をノートに書き写し、自分なりの予想を書いてから教材を読み進めると、課題意識をもった学びになります。
- 気づいたことや文章中の太字、「まとめ」の視写なども有効な学びにつながります。
- QRコードが付いている箇所があり、学習内容の補充やヒントとして役立てられます(機器の使い方や実験装置の作り方、動画など)。
- 6年の教材の中には、プログラミング教育に関わるシミュレーションを体験することができるQRコードもあります。
- 単元のはじめの「思い出してみよう」に付いているQRコードでは、既習内容に関わる教科書の記述等を見ることができ、学習の準備に役立ちます。
- 単元末の「まとめノート」を視写したり、参考にして自分のまとめページを作成したりすることで、学習内容の確認ができます。



【外国語活動・外国語】

(3・4年生)

- 家の人と一緒に教科書のイラストを見ながら、数字や色、動物や食べ物の名前などを英語で言ってみましょう。

(5・6年生)

- QRコードが、教科書及び Picture Dictionary (ピクチャーディクショナリー) に約 200 箇所用意されています。それらを活用して音声を聞くことができます。
- 教科書右上の Let' s Sing. Let' s Chant. のQRコードでは、英語の歌やチャンツを聞くことができます。
- 5年生「日本のすてき」、6年生「世界のすてき」のコーナーのQRコードでは、日本や世界の動画と英語での話を聞くことができます。問いもあるので、音声を聞いて考えてみましょう。また、紹介されている地域を地図帳で調べてみることで、社会科と関連付けて学習することもできます。
- Picture Dictionary (ピクチャーディクショナリー) のQRコードを使って、音声を聞きながら単語の発音を練習できます。

外国語活動・外国語における「書く」活動については、「音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写す」ということが学習指導要領解説に示されています。音声で十分に慣れ親しむことが難しい場合は、「聞く・話す」活動を重視し、英語を聞いたり声に出して発音したりする学習を行うことを大切にしましょう。



音楽の教科書にある曲をリコーダーで演奏したりお子様と一緒に歌ったり、家庭科の調理実習や縫物を一緒にしたり、図画工作をしたり。教科書をもとにして、お子様と保護者の皆さんが時間を共有することは、大変貴重なものとなることでしょう。